

住友化学 News Release

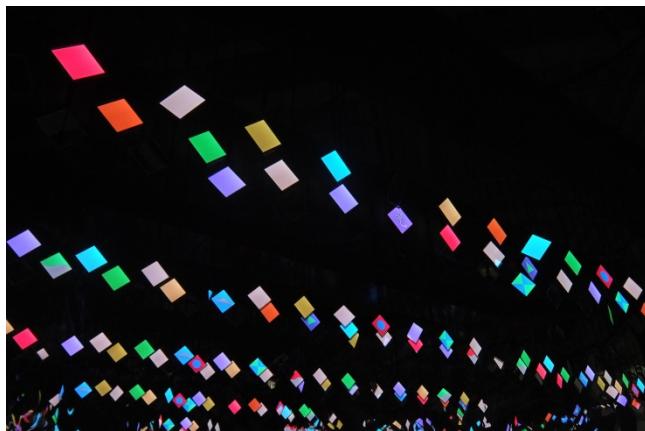
2016年2月15日

高分子有機EL照明による新たな空間演出を提案 (Light + Building 2016)

住友化学は、2016年3月、ドイツのフランクフルトで開催される世界最大級の照明・建築技術見本市「Light + Building (ライト・アンド・ビルディング) 2016」に、高分子有機EL照明を出展いたします。

2014年の出展に引き続き、展示ブース等のプロデュースとデザインに、世界的照明デザイナーの石井幹子氏を迎えて、世界最先端の高分子有機EL照明の魅力を最大限に引き立たせたオブジェを展示いたします。

名付けて、『OLED JARDIN』。高分子有機EL照明で形作られた『天空の庭』を表現し、大きな広がりの中に和のテイストを加えた、親しみやすい空間をデザインいたしました。



出展する「OLED JARDIN」光オブジェ
(W5.0m×D5.0m×H3.6m) デザイン：石井幹子

今回の展示では、『OLED JARDIN』とともに、前回「Light + Building 2014」に出展した装飾用照明パネルよりも、さらに発光効率や輝度を向上させたパネル製品群を提案いたします。当社の高分子有機ELならではの多彩な色、形状、サイズのパネルは、さまざまな空間や用途において、柔軟なデザイン表現を可能とします。

住友化学は、「Light + Building 2016」での展示を皮切りに、2016年4月よりこれらの新規ラインナップの販売を開始し、有機EL照明事業のさらなる拡大を図ってまいります。

以上

(ご参考)

<株式会社石井幹子デザイン事務所 HP>

<http://www.motoko-ishii.co.jp>

<住友化学 概要>

住友化学は、2015年、開業100周年を迎えました。社会が抱える困難な課題を技術の力で克服し、事業を通じて人類社会の発展に貢献するという基本精神や使命感を経営理念とし、石油化学、エネルギー・機能材料、情報電子化学、健康・農業関連事業、医薬の5事業分野を有する総合化学会社として、幅広い産業や人々の暮らしを支える製品を提供しています。

住友化学は、次の100年も、身のまわりの快適な衣食住の実現から、食糧、環境、資源・エネルギーといった地球が抱える課題の解決まで、化学の力で立ち向かっていくことで、社会から信頼されるグローバルな総合化学会社として成長し続けていきます。

2014年度の売上は約2兆4000億円、従業員数は約3万1000人です。

住友化学 HP: <http://www.sumitomo-chem.co.jp/>

住友化学 有機EL照明 HP: <http://www.sumitomo-chem.co.jp/pled/>

<住友化学の高分子有機EL照明の特長>

- ・塗布、印刷法による低コスト製造が可能。
- ・どのような発光色でも、1回の塗布（印刷）で作製可能。
- ・太陽光に近い自然な光から、デザイン性の高い中間色まで、多彩な照明色を実現。
- ・薄い面光源。
- ・目に優しい光の波長。
- ・環境にやさしい水銀レス。

<有機EL（エレクトロルミネッセンス）>

有機物に電圧をかけ電流を流すことによって発光する現象を指します。

同じ現象を利用した有機発光ダイオード（Organic Light Emitting Diode: OLED）も一般的に有機ELと言われます。

特に、発光する有機物に高分子を用いたものは、高分子有機EL（Polymer OLED）と呼ばれています。

<照明・建築技術見本市「Light + Building（ライト・アンド・ビルディング）」>

ドイツのフランクフルトで2年に一度開催される、世界最大級の照明や建築技術の見本市。

当社の出展は、本年で3回目となります。照明メーカーや建築技術メーカーを中心に、最先端の製品・技術が展示され、ヨーロッパを中心に多くの人が訪れます。

Light + Building 2016

開催期間: 2016年3月13日（日）-3月18日（金）

場所: ドイツメッセ・フランクフルト ホール4.1（当社ブース:D10）

ホール4.1 全体図

